

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	リゾートトラスト株式会社					
代表者名	氏名	伏見 有貴	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	名古屋市中区東桜2-18-31					
主たる事業の分類	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業				
	中分類	75 宿泊業				
主たる事業の概要	宿泊業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	5574	5407	5635	5632	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	13079	12686	13255	13252	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	11		11	11	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	251				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 30 年度
--------	----------

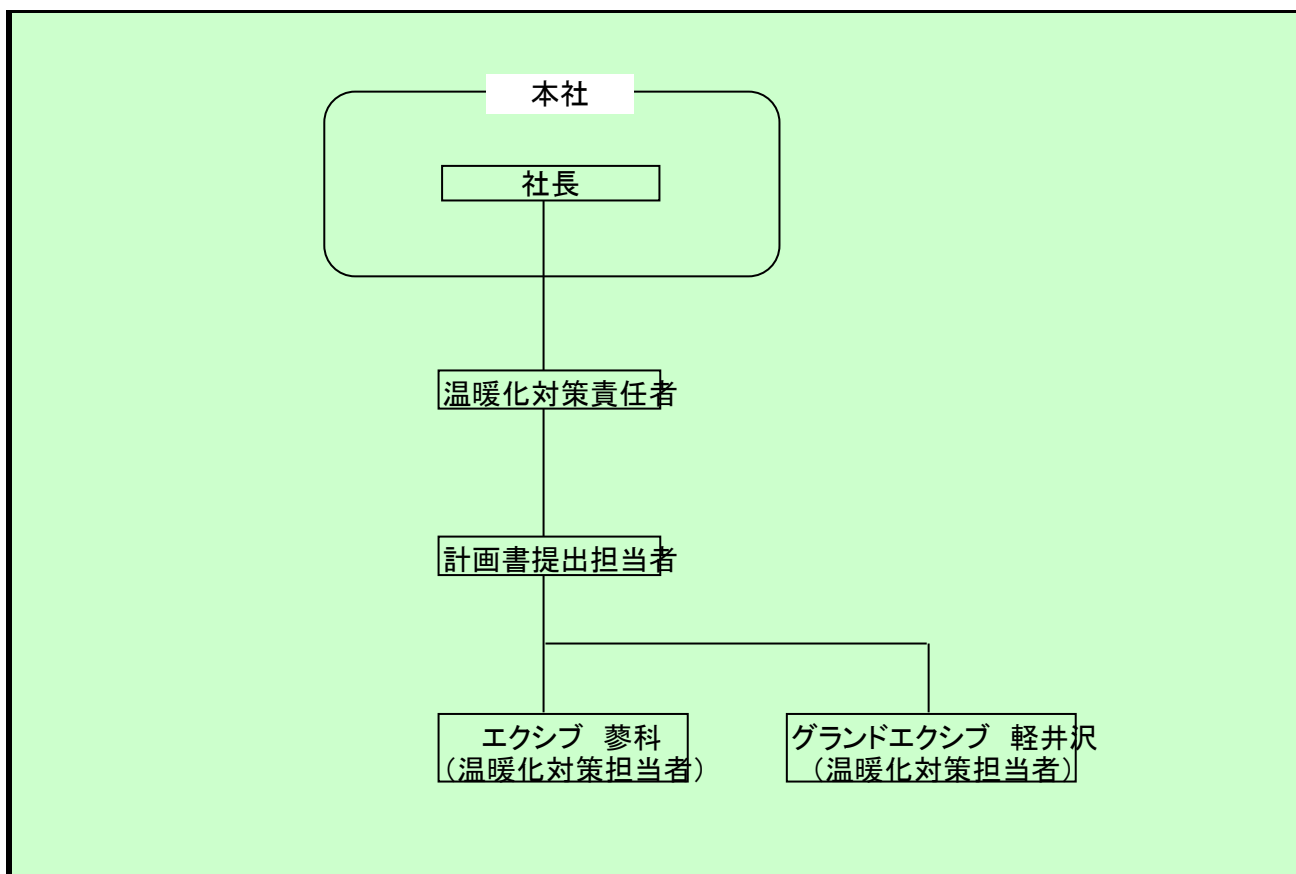
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	エクシブ蓼科（0266-71-8270） グランドエクシブ軽井沢（0267-46-4439） 共に9～18時 施設管理にて閲覧可能
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

リゾートトラスト株式会社は「夢と感動と安らぎ」を提供し最上級のホスピタリティの実現のために、会員制リゾート事業をはじめとするさまざまな事業活動を通じて常に価値あるサービスを提供する事に努めています。私たちはそれらを実現する為の企業活動が、地球環境に様々な影響を与えている事を認識し、環境との調和を図り、社会との共生に勤めながら、社会や地球環境に貢献します。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・ クレンリネス会議・・・月1回
- ・ 施設管理・設備担当者フォーラム・・・年1回

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	13,079	t-CO ₂	宿泊人数	251.21	単位	千人	
28年度	調整後排出量	13,030	t-CO ₂	基準原単位	52.06	t-CO ₂ /	千人	
目標年度	目標排出量	12,686	t-CO ₂	目標原単位	50.50	t-CO ₂ /	千人	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
31年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	<p>宿泊人数の変動によりエネルギー使用量が密接に変化する為、基準原単位に設定既に削減努力をしている為、3年間で3%の抑制達成を目標とします。</p>							<p>※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。</p>
第一年度	排出量	13,255	t-CO ₂	宿泊人数	246.03	単位	千人	
	調整後排出量	13,195	t-CO ₂	原単位	53.88	t-CO ₂ /	千人	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
29年度	削減率	(1.35)	%	削減率	(3.50)	%		
排出量等の増減理由	<p>宿泊人数減少による排出量は削減できています。原単位は夏季の冷房運転による重油使用量と電気使用量の増加。中間期における暖房運転による重油使用量の増加。これは気象状況の変化による増減する為、原単位の宿泊人数の増減には反映されません。</p>							
第二年度	排出量	13,252	t-CO ₂	宿泊人数	251.50	単位	千人	
	調整後排出量	13,204	t-CO ₂	原単位	52.69	t-CO ₂ /	千人	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
30年度	削減率	(1.33)	%	削減率	(1.22)	%		
排出量等の増減理由	<p>夏季の外気温が高く冷房負荷が増加したため重油、電気の使用量が増加しました。 働き方改革のため厨房機器の増設(電気)110kw/hのため増加しております。</p>							
第三年度	排出量		t-CO ₂	宿泊人数		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
31年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	251	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	380752 LEDの導入	H29	30	H30	
2	エネ起	110204 システム性能管理(熱源機器等のオーバーホール)	H30	100		
3	エネ起	150103 変圧器容量(高効率変圧器への更新)	H31	試算中		
4	エネ起	140202 給水流量、圧力(給水加圧ポンプの更新)	H29	試算中	H29	13
5	エネ起	120501 流量、圧力管理(差圧弁の更新)	H29	試算中		
6	エネ起	120501 流量、圧力管理(ケリングター循環ポンプの更新)	H30	試算中		
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	49		60	48	
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	2	13,079	2	13,255	2	13,252		
1,500k1未満								
合計	2	13,079	2	13,255	2	13,252		

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	11	11	11	
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特に無し
その他	特に無し

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	軽井沢社員寮送迎 在籍約230 内送迎45
公共交通機関の利用促進	公共交通機関無し
来客者の交通対策	軽井沢送迎バス 日9便往復 蓼科送迎バス 日8便往復
物流の合理化	一部納品、通い箱

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	2005年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	特に無し
第一年度実績	会議ペーパーレス化、Web会議導入、廃棄物削減、食品リサイクル
第二年度実績	LED照明器具への更新、従業員を隣地の社員寮に集約し送迎便の廃止
第三年度実績	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO ₂)
基準年度以前の取組み	空調運転時間の見直し、照明設備消灯徹底、LEDの導入を行いました。	1862
その他		